

Super

3

令和5年3月13日
立川市立第三小学校
校長 田村 聡

身を粉にして 三小は小粒でもぴりりと辛いぞ

WBCが連日話題に上っています。なかでも、テレビではペッパーミルをまわすしぐさで、『身を粉にして取り組む』が、よく流されています。「労力を惜しまずに、一心に仕事をする」といった意味をもっています。骨身を惜しまず働くということです。また、コショウのようにピリリとしたスパイスにといった意味もあるようです。体格的にはまだ小さく見える日本人ですが「山椒は小粒でもピリリと辛い」といったところでしょうか。

今朝の前校長下での6年の話は、卒業まで休みを入れて11日。話を聞く姿勢と友達とのかわり方を学んだということ。これを中学校でも生かしていきたいといったことでした。



今月の生活目標である「すみずみまできれい」にするため、みなさんには、ぜひとも身を粉にして掃除に励んでほしいと思います。

6年生は下級生のこれからの三小を頼むといった気持ちを込めて、下級生にはありがとう、任せてくださいといった気持ちを込めて、登校時からお互いに挨拶を交わし合ってもらいたいです。三小の朝は、元気なあいさつから始まるを実践してください。

そして、あと11日しかないのか、あるいはまだ11日あるのか。自分にとっては、どちらの捉えの方が、充実した生活にしようと思いがわいてくるのかを考えながら、毎日を過ごしてください。



廊下にいけられた花、桜の花はほぼ満開に近づいてきました。卒業式までには散ってしまうのでしょうか。校舎の外の桜は、卒業式の頃が満開になる、との予報が出ているように聞いています。

先程まで強い風にあおられて、横殴りの雨が窓ガラスをたたいて。少し小降りになってきたようです。雨なので校庭に遊びに出るわけにもいかず、子どもたちは教室で静かに過ごしています。



さて、掃除の時間、職員室に6年が特別教室のカギをとりに来ます。今週はいつも以上に、身を粉にして掃除してください。

